

めざす子ども像

**ふるさとを愛し、誇りとする子ども・思いを伝え合い人とのつながりを大事にする子ども・よく考え、よく学び進んで実行する子ども・人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども**

取組目標

**地域・家庭・学校が一つとなって、田原の教育に取り組み、将来地域活性化の中心となる人材を育てる。**

## 【今年度の取組紹介】

「田原の子どもたちは、田原に住むすべての人で育てる」という考え方にに基づき、これまで「交通安全立哨活動」、環境整備活動「どんごが丘整美作業」「田原ふれあい夢花壇」など児童生徒が安心・安全で心地よく学校教育に臨めるように、学習環境の整美に努めました。また、学習支援活動として、外国語の授業補助「外国語科授業支援」、地域に伝わる伝統文化の継承「祭文踊り



の指導)、韓国慶州女子中学校ホームビジットにおける日本文化紹介「田原千本つき(餅つき)指導」、キャリア教育の一環として行う「地域の魅力発信のための法被作成」・「職場体験ポスターセッション」における助言など、地域人材を活かした支援を行うことができました。

今年度、はじめて地域と合同で開催した「田原合同大運動会」や、文化鑑賞会・人権講演会の共催など、学校の取組を地域に周知するための、多くの機会を設定することができました。

## 【今年度のまとめ】

田原は、豊かな自然や伝統文化を地域の努力によって現在にまで引き継いでいる地域です。これまで学校では「よく考え、よく学び、進んで実行できる児童生徒」「思いを伝えあい、人とのつながりを大切にする児童生徒」「ふるさとを愛し、誇りとする児童生徒」の育成を目標に、様々な活動に取り組んでいます。地域教育協議会では、将来の田原地区を支える人材の育成が大切であると考え、学校の教育活動を支援してきました。今年度は、上記に加え、京都大原学院で行われた「第4回 小中一貫教育小規模校全国サミット in 大原」に参加し、これまでの取組を見つめなおす機会とすることができました。今後とも、学校とともに「田原の教育」がさらに充実したものなるよう取り組みたいです。

## 【来年度に向けて】

近年、田原地区では少子化・高齢過疎化が一層すすんでおり、学校においても、それにとともなう児童生徒数の著しい減少がみられます。これからも、地域・学校が課題の解決に向けて、ともに取組をすすめていく必要があります。

来年度においても、旧幼稚園跡地を利用した地域・保護者の交流の場である「どんごが丘コミュニティー広場」の活動や、地域の魅力を発信するための「キャリア教育(起業家教育)」への取組などを一層推進させるなど、地域・学校の活性化に向けた取組を中心に支援していきたいです。

めざす子ども像

**ふるさとを愛し、誇りとする子ども・思いを伝え合い人とのつながりを大事にする子ども・よく考え、よく学び進んで実行する子ども・人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども**

取組目標

**地域・家庭・学校が一つとなって、田原の教育に取り組み、将来地域活性化の中心となる人材を育てる。**

## 【今年度の取組紹介】

＜キャリア教育・学び合いを核とした取組＞

田原小中学校では、施設一体型小中一貫教育校としての特性を生かし前・中・後期の各ブロックの発達段階に応じた特色ある活動に取り組んでおり、児童生徒は上級生をモデルとすることで、自ずとブロックの中でリーダーの育成がなされています。

今年度は、これまでに引き続き「キャリア教育」および「学び合い」



を学習の中心に据え取り組んできました。地域の方々からは、3年目を迎える起業家教育における、田原の魅力発信のための「はっぴ」の作成や、職場体験（ジュニアインターンシッププログラム）取組発表での幅広い助言など、多くの協力をいただくことができました。

地域より温かく支援をいただけることは、日々の教育活動において大きな助けとなっています。



## 【今年度のまとめ】

学校では、「9年間の連続性・継続性を生かした一貫教育を行い、豊かな心と確かな学力を身につけた世界にはばたく人間を育成する」ことを学校教育目標に据え、教育活動を進めてきました。

これまで、地域と学校の間では、教育目標の実現に向けて多くの意見交流を重ねながら、活動支援にあたっていただきました。また、コーディネーターやボランティアの拡充に向けた広報活動などによって、これまで以上にサポートスタッフの充実を図ることができました。

今年度の活動を通じて、学校と地域とのつながりを強化し、地域の学校教育への関心を一層高めることができたと考えています。

## 【来年度に向けて】

今年度も、多くの地域の方々のご協力によって、取組を進めることができました。一方で、今後の活動の継続に向けて、コーディネーターやボランティアスタッフの高齢化が問題となっています。また、学校・地域との交流を通して、少子化・高齢過疎化という学校・地域の抱える共通の課題解決に向けて、取り組む必要性について、改めて確認することができました。

今後は、より多くの方々に積極的に関わってもらえるよう、事業内容の工夫や、参画・運営方法の改善を図るとともに、特に、保護者世代への呼びかけを積極的にすすめることで、学校・地域の活性化につなげていきたいと考えます。

めざす子ども像

- ・ ふるさとを愛し、誇りとする子ども
- ・ 思いを伝え合い人とのつながりを大事にする子ども
- ・ よく考え、よく学び進んで実行する子ども
- ・ 人や自然を愛し、心をかよわせ合う子ども

取組目標

**地域・家庭・学校が一つとなって、田原の教育に取り組み、将来地域活性化の中心となる人材を育てる**

## 【今年度の取組紹介】

田原地区の米作り、お茶などについて地域の方から学びました。田植え等の体験もさせていただいたが、今年度はドローンを活用した学習をすることができました。今までは茶畑を見学したり、地図でその様子を学んだりするという学習が中心であったが、ドローンを運動場から上空へ飛ばし、飛び上がりながら撮影された映像を見ることで、田原地区の茶畑の広がりや田畑の広がりなどを子どもたちは感じることができました。

田原地区を学ぶだけでなく、自分たちで田原地区をどのようにピアーリングしていけばよいか考えました。一昨年は「三種の神茶」、昨年は田原地区をピアーリングするリーフレットの作成、今年度は2つの取組を行いました。7年生は法被の製作をしました。小学5・6年生は田原地区を紹介する動画を制作しました。自分たちが選んだ所を取材し、どのように撮影すれば興味深く見てもらうことができるのかアイデアを出しながら絵コンテを作り動画撮影に臨みました。動画の撮影や編集については、地域の方から紹介していただいたプロの方からアドバイスをいただきながら約6分間の動画を完成させました。



## 【今年度のまとめ】

田原地区は豊かな自然や伝統文化が地域の方の努力で現在にまで引き継がれてきています。小学校は「ふるさとや自然を愛する心を育てる」「地域に伝わる文化や伝統を守り伝える」そして、子どもたちが気付いた田原の魅力を発信する取組を様々な方の力を借りながら行っています。また、中学校と施設一体型の小中一貫教育校の特色を生かし、中学生の取組を参考に今、自分たちのできることを考え、取り組んでいます。このことが地域を支える次の世代の人材育成につながると考えています。

そのためには、地域と学校が連携協働して、子どもたちを見守り、地域とのつながりを大切に「ヒト・モノ・コト」のかかわりを通して、ふるさとや自然を愛する心を育てる取組を進めることが大切であると考えています。

## 【来年度に向けて】

これまでの取組を継続し、充実した取組になるように改善を図っていきたいです。また、子どもの数は減少傾向にあるが、地域と学校が連携協働し効率的な事業の運営を行い、目指す子ども像にせまる効果的な取組を実施できるように企画立案し、実行していきたいです。